

令和4年度宇治茶アカデミー 開催要領

1. 趣旨

京都府内で茶の生産、流通・販売やスイーツ等茶の加工商品の製造・販売等を行っている若い担い手を対象に、経営力、宇治茶の伝統や価値の発信力を高めるとともに、参加者同士の交流・連携を深め、宇治茶のイノベーションにつなげる。令和4年度は、3年ぶりに対面形式によるセミナーを実施し、「求め続けられる宇治茶であるためには」をテーマに開催する。

2. 主催者

主催：京都府 共催：公益社団法人京都府茶業会議所

アカデミー校長 京都府茶業研究所長

総括アドバイザー 堀井長太郎 氏 ((公社) 京都府茶業会議所会頭)

吉田利一 氏 ((公社) 京都府茶業会議所副会頭・京都府茶生産協議会会長)

森下康弘 氏 ((公社) 京都府茶業会議所副会頭・京都府茶協同組合理事長)

3. 対象者

京都府内の意欲ある若手の茶生産・流通業者及び茶加工商品の製造・販売業者

4. 募集人数

20名程度(但し、同一企業からの参加は3名まで) ※過去の受講生も受講可能

5. 開催場所・時間

京都府茶業研究所(対面形式) 各回とも午後1時30分から開始

6. カリキュラム

時期・場所	内容(講演名は仮称)	講師
第1回 令和5年 1月12日(木)	【講演】 ◇「これからの宇治茶生産への想いを語る」 ー宇治茶生産の第一線で活躍する生産者がこれからの宇治茶への想いを語る ◆グループワーク	宇治茶生産を牽引する若手生産者 吉田 修平 氏(宇治市) 山下 新貴 氏(京田辺市) 下岡 清富 氏(宇治田原町) ※対談形式
第2回 令和5年 2月3日(金)	【講演】 ◇「宇治茶の香りとその伝え方について」 ー香り成分の特徴や香りの分類、香りの表現に関するボキャブラリーを増やすためにはー ◆グループワーク	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門 上級研究員 水上 裕造 氏
第3回 令和5年 2月16日(木)	【講演】 ◇「宇治茶での有機栽培の取組みについて」 ー京都府における有機茶栽培の現状と実際に生産者が語る ◆グループワーク	有機茶栽培に取り組む若手生産者 清水 康平 氏(宇治市) 林 嘉人 氏(和東町) 吉岡 大治朗 氏(南山城村) ※対談形式
第4回 令和5年 3月1日(水)	【講演】 ◇「世界は、宇治茶を待っている！ ～茶レンジすることで、茶ンスは生まれる！～」 ◆グループワーク	株式会社 舞妓の茶本舗 茶ムライ 中坊 敏也 氏

7. 受講料

無料

8. 申込方法

令和5年1月10日(火)までに茶業研究所ホームページに掲載の受講申込書に必要事項を記入の上、FAX又は電子メールで茶業研究所あて申込み

申込・問合せ先：京都府農林水産技術センター農林センター茶業研究所

(担当：松田、馬場、増田、松村、岩口)

TEL 0774-22-5577、FAX 0774-22-5877、電子メール ngc-chaken@pref.kyoto.lg.jp